

アゴダ、『2019年に旅先で体験したいこと』調査結果を発表 ～自己啓発やセルフケア・リトリートが、スポーツや冒険より上位にランクイン～

世界で最も急成長しているオンライン旅行会社(OTA)のひとつであるアゴダは、2018 年 12 月 7 日から 20 日にかけて日本、オーストラリア、中国、イスラエル、サウジアラビア、フィリピン、アラブ首長国連邦の 7 ヶ国にて「2019 年に旅先で体験したいこと」に関する調査を実施しました。その結果、男女共に「**新しい言語の学習**」が 1 位に、日常から離れて心身ともに癒しを得る「**セルフケア・リトリート**」が 2 位にランクインしました。これに続き 3 位にランクインしたのは、男性では「**新しいスポーツに挑戦**」であったのに対し、女性では「**新しい料理の習得**」という結果となりました。

「スポーツ・イベント観戦や参加」および「デジタル・デトックス」は、今回調査を実施した多くの国で最優先事項にはならなかったものの、日本では「**セルフケア・リトリート(38%)**」に続き「**デジタル・デトックス(18%)**」が 2 位にランクインしました。また、オーストラリアで調査に参加した人のうち約 3 分の 1 の人々が調査の選択肢にある体験ではなく、家族旅行やクルーズといった他の体験を挙げました。

今回の調査結果の概要は以下の通りです。

【2019年に旅先で体験したいことトップ3(全体)】

	全体	男性	女性
1.	新たな言語の学習	新たな言語の学習	新たな言語の学習
2.	セルフケア・リトリート	セルフケア・リトリート	セルフケア・リトリート
3.	新しい料理の習得	新しいスポーツに挑戦	新しい料理の習得

【2019年に旅先で体験したいことトップ3(年代別)】

	18-29 歳	30- 39 歳	40-49 歳	50 歳以上
1.	新たな言語の学習	新たな言語の学習	新たな言語の学習	新たな言語の学習
2.	セルフケア・リトリート	セルフケア・リトリート	セルフケア・リトリート	セルフケア・リトリート
3.	新しい料理の習得	新しい料理の習得	新しい料理の習得	その他

旅行で新たに言語を学ぶ

若年層にあたる 18～39 歳の人々のうち 44%が「新たな言語の習得」を 2019 年に旅先で体験したいことのトップに挙げており、男女共にほぼ同じ割合ということが分かりました。新たな言語を学ぶことは、視野を広げ、交友関係を広げ、新しい文化を理解するには最適の方法と言えます。マルチリンガルになりたい方にも、基本的な言葉を身につけ旅行に役立てたい方にも、おすすめの旅行先をご紹介します。

● バルセロナで、世界で 2 番目に話されている言語を学ぶ

言語を学ぶための最良の方法のひとつは、地元の人々に囲まれて生活し、日常生活の中で学んでいくことです。例えば、Agoda Homes で予約できるバルセロナ アpartment ヴァル (Barcelona Apartment Val)のようなアパートメントに泊まると、隣人や地元のビジネスオーナーとスペイン語で交流する機会があるかもしれません。このアパートメントは市内の主要観光スポットへのアクセスも便利です。



● ボランティアしながらロシア語を学ぶ

何かに没頭できる環境で新しい言語を学びながら、社会貢献をするのはいかがでしょう？ ロシアのサンクトペテルブルクでは、病院でボランティアとして登録し、4～16 週間の集中語学プログラムに参加しながら、病院のスタッフと一緒に働くことが出来ます。長期滞在には、公共交通機関へのアクセスも便利で手頃な価格で滞在が可能な Ye's Domotielli Apartamienty 4 のようなキッチン付きアパートメントがお勧めです。



セルフケア・リトリート

日本では、セルフケア・リトリートが旅先で体験したいことのトップに挙げられ、女性回答者のほぼ半数となる50%がセルフケア・リトリートを第1位に選びました。健康やセルフケアを重視した休暇スタイルを好む旅行者は世界的にも増えており、心と身体の癒しを求めて、瞑想やヨガのコース、スパなどのアクティビティをして日常から離れた時間を過ごしています。

● バリ島のウェルネス・リゾートへ癒しの旅に出る

バリは絵葉書のように美しいビーチへ逃避行するためだけの旅先ではありません。REVIVO Wellness Resort のようなウェルネス・リゾートでは、気分転換をしたり、ヘルシーな食事を楽しんだり、スパや自然療法のトリートメントを受けたり、気功やエアリアル・ヨガなど健康回復のための運動をするなど、様々な体験ができます。



● オーストラリアのミネラルスプリングス(鉱泉)に浸る

ビクトリア州のリゾート地・ヘップバーン・スプリングスには、オーストラリア最大の鉱泉があります。伝統的なヘップバーン・バスハウスの天然の鉱水に浸かってリフレッシュし、ソルトス ラグジュアリー アコモデーション (Saltus Luxury Accommodation)では贅沢なデイ・スパ・トリートメントを楽しめます。

デジタル・デトックス

現代社会では、テクノロジーはなくてはならないものですが、デジタル機器を使用することが多い今日において、休暇中はすべてのデジタル機器と距離を置き、リフレッシュする絶好のチャンスです。日本では、50歳以上の旅行者の41%が2019年の旅行で体験したいことの第1位にデジタル・デトックスを選びました。

● ネパールの僧院のフロントに電話を預ける

コパン僧院の宿坊で 1 晩を過ごし、思考を整え集中しましょう。フロントでは電子機器を預けるよう求められます。その後はカトマンズの歴史的な名所近くの静かな路地裏にある、伝統的なネパール風の装飾が施された美しいエコホテル、カンティプール テンプル ハウス (Kantipur Temple House)でデジタル・デトックスを続けてください。



● ヨセミテ国立公園の大自然を散策

ヨセミテの溪谷や山々、野生生物の魅惑的な美しさに心を奪われると、携帯電話を手放し、素晴らしい自然の風景の中でくつろぎたくなります。ヨセミテズ シーニック ワンダーズ (Yosemite's Scenic Wonders)のようなロッジを選べば、パティオでのんびりとヨセミテの景色を楽しめます。



新しいスポーツに挑戦

スポーツやアドベンチャー体験は、どの国でも上位 3 位には入りませんでしたが、とりわけ、オーストラリア、フィリピン、中国、サウジアラビア、アラブ首長国連邦の 40 歳未満の人々は、スキー、ハイキング、カヤックといった新しいスポーツに挑戦することに興味を示していることが分かりました。新しいスポーツに挑戦することは楽しいだけでなく、肉体的にも精神的にも鍛えられます。スキーやサイクリングなどの個人競技は、旅行者が休暇で楽しむのにぴったりのスポーツです。

● 北海道でスキーやスノーボードを楽しむ

ヒルトン ニセコ ビレッジ (Hilton Niseko Village)などを拠点にすると、街での楽しみだけでなく、スキーやスノーボードのクラスが受講できるスキーリゾートにも簡単にアクセスできます。ご自分に合ったクラスを選んで参加してみましょう。

● ベトナムでサイクリングを体験

サイクリングは、自分のペースで街の隅々まで探検するのに最適な手段です。「ヘブンズ・パス (Heaven's Pass)」を下り、村や息をのむような景色を駆け抜け、ベトナム南部中央部の高地にあるプチバリとも呼ばれるダラットの町までサイクリングをしてみましょう。1920 年代にフランス人が開拓したアナ マンダラ ヴィラ ダラット リゾート & スパ (Ana Mandara Villas Dalat Resort & Spa)で疲れた足を休め、山の景色を楽しみましょう。



国際スポーツ・イベント

世界中からやって来るスポーツファンと一緒にスタジアムを埋め尽くし、大好きな選手やチームを絶叫しながら応援することは何ものにも代え難い体験です。今回調査を実施した全ての国々で、男性の10%に当たる人々が2019年に旅先で体験したいことにスポーツ・イベントの観戦または参加を第1位に選んでいます。世界タイトルマッチのようなトップレベルの試合を観戦し、スポーツへのさらなる情熱を高めましょう。

● ラグビー・ワールドカップ

ラグビー・ワールドカップは4年に1度開催されますが、2019年に開催される日本大会はアジアで初となる大会で、札幌、福岡、神戸を含む全国12箇所の競技場でゲームが行われます。横浜の中心部にあり、日本の有形文化財にも指定されている旅館 喜多屋に宿泊して本格的な旅館を体験し、横浜国際総合競技場での決勝戦を観戦しましょう。



● 全仏オープン

パリのローラン・ギャロス・スタジアム最大のクレーコートでテニスの全仏オープンを観戦し、初夏のパリの町を満喫しましょう。有名なシャンゼリゼ通り沿いにあるスタイリッシュなウェスト エンド ホテル (West End Hotel)に宿泊すれば、美術館やカルチャースポット、ショッピングなどにも便利です。

【アゴダ®について】

2005 年にシンガポールにて IT スタートアップ企業として創業したアゴダは、世界で最も急速な成長を続けるオンライン旅行予約プラットフォームの一つです。今日、世界 200 以上の国や地域において 200 万以上の宿泊施設を取扱っており、ラグジュアリーホテルから格安ホテルはもちろんのこと、アパートメント、民泊物件、ヴィラやスイートなど、様々な予算レベルや旅行のシーンに対応する幅広いチョイスを世界中の旅行者に提供しています。シンガポールに本社を据え置き、Booking Holdings (Nasdaq: BKNG) の傘下企業として現在、30 カ国以上 53 の都市に支社を構え、総従業員数は 3,700 人以上に上ります。また、ウェブサイトの Agoda.com およびモバイルアプリは 38 カ国語でご利用いただけます。

＜本リリースに関する問い合わせ先＞

アゴダ® 日本広報代理店 アビアレップス株式会社（担当：水谷、橋詰）

TEL: 03-3225-0008 / FAX: 03-5363-1118

E-mail: rmizutani@aviareps.com nhashizume@aviareps.com

アゴダ® 広報部門 E-mail: press@agoda.com